



# 学区主行事開催方針

## 学区民運動会は10月8日開催

### コロナ禍以前の通常競技を実施

学区自治連合会と学区スポーツ振興会は6月21日夜、日吉台市民センターで「令和5年度学区民運動会」の事前協議を行い、今年の運動会について、10月8日(日)、日吉台小グラウンドで開催することを決めた。新型コロナ禍で4年ぶりとなる今年の運動会、時間短縮や、

種目削減など行わないコロナ禍以前の通常規模での開催を申し合わせた。準備委員では、コロナ禍感染症も落ち着きつつあることから例年行われてきた競技種目を実施する一方、大会運営費に充当していた協賛金については、協賛金集めに自治会役員らの負担が大きい

として取りやめ、お楽しみ抽選会も行わないこととした。また、例年、予備日を設けていたが、8日が雨天の場合は中止する。順延すると競技種目出場メンバー選出が難しくなるというの大きな理由。

## 実施団体を公募 文化祭

学区の主行事、コロナ禍や実行委組織化問題等で中断している「日吉台文化祭」について、学区自治連合会は今年度の開催準備に

あたり文化祭行事を包括的に企画、実行できる「文化祭実施団体・グループ」を公募することを決めた。公募要領を学区ホームページに掲載するとともに学区住民に回覧、周知する。

# 日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区  
まちカキカペー

編集責任者  
野々口 義信

日吉台学区  
個人情報保護方針  
取り扱い文書



学区ホームページ

## 日吉台まつりは11月4日開催決まる

### 熱中症リスク避け秋に

今秋の開催が決まっている「日吉台まつり」について、同まつり実行委設立準備委員会は6月7日開いた委員会で、11月4日、日吉台小グラウンドで開催することを決めた。

設立準備委員では、開催日について「9月23日(土)」「開催と「11月4日(土)」開催の2案が出された。秋開催にはこの

季節、小、中、高校の学校行事などが集中、学区内でも文化祭、学区民運動会などのイベントが重なり、検討作業は難航したが、学区民運動会と準備作業が重ならず、学校行事がひと段落している「11月4日(土)」開催で意見の一致をみた。

「日吉台まつり」として開催されていた学区の伝統行事。コロナ禍の影響で、昨年は3年ぶりに秋に延期して開催したところ、夏開催の熱中症のリスクも少なく、学区住民から高評価を得たこともあり、「秋開催」に変更が決定。名称も「日吉台まつり」と改め、開催準備が進められてきた。(にぎわう昨年の祭り会場)

## 支所に次長級職員再配置を 自治連が市に要望書提出

日吉台支所に次長職員を再配置して欲しい。日吉台学区自治連合会(野々口義信会長)は、6月17日開いた学区自治連合会定例役員会で、平成31年度以来欠員となつている日吉台支所次長級職員の再配置を求める「日吉台市民センター次長職員の配置に係る要望書」を佐藤健司大津市長宛てに提出することを決めた。

平成31年度中、大津市内にある36支所のうち18支所で次長級職員が削減され日吉台支所でも窓口職員が2人態勢となった。削減された18支所では、少ない人員での市民対応に追われピーク時には窓口業務に支障がでることもあり、大津市は令和4年度で削減した支所のうち3支所で次長級職員を再配置、令和5年度には小野支所、富士見、南郷の3支所でも再配置されたが日吉台支所では欠員のままになっている。

区は、高齢化率が50%を超えマイナンバーを初めとした最新の複雑な行政手続きに時間がかかるうえ、市民の相談内容は多岐にわたる、として早期の再配置を求めている。

**下り坂走行注意**

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加

◆終端付近見通し不良

**制限速度を守り 終端付近では最徐行**



井川さんは、平成19年4月から日吉台3丁目目の井川福祉さんが5月29日、大津市民会館で開かれた市防犯協会総会で、防犯功労表彰された。

### 井川さん防犯功労表彰受賞

台自主防犯協会会員となり現在同会幹事を務める。毎朝、日吉台小児童の登校の見守りほか、夜間パトロールに積極的に取り組み学区子ども安全リーダーとしても活躍、地域の防犯活動の推進に貢献した。令和2年4月、大津署長感謝状も受けている。

**歩道のある道では 必ず歩道を歩きましょう**

**夜の歩行時は 明るい色の服・反射材を**



# 日吉台小で学習発表会とジャガイモ収穫



## 学びの成果を発表へ

日ごろの学びを保護者や地域の人たちに披露する日吉台小(石田校長)の「学習発表会」が6月13日、同小体育館で行われた。写真。

地域の人や保護者らを集めて行うフルバージョンの学習発表会はコロナ禍以来4年ぶり。発表会では、練習を積み重ねた合奏や合唱、みんなで勉強してきた学習報告を各学年ごとに行い、会場の体育館には、大勢の父母たちが観覧、我が子らの姿をスマホやビデオで追いかけていた。

また、学校生活によく慣れてきた1年生は、「せんせいしようかい」で、校長や先生らの趣味や人柄について、子ども



目線で感じたことをユーモアたっぷりに発表、会場の笑いを誘っていた。



## 「みんながセンセイ みんながセイト」 コミュニティカレッジに集う 学区まちづくりカンパニー

学区まちづくりカンパニー(会長、濱崎博元学区自治連合会長)主催の「日吉台コミュニティカレッジ」が6月18日、日吉台市民センターで開かれた。写真。

学区には、いろいろな知識、技術を持つ人が住む。これらの人たちから話を聞き、考え、物をつくり、体験を分かち合う「みんながセンセイ、みんながセイト」と銘打つユニークなカルチャー講座。

この日は、日吉台市民センターの第1、第2、大会議室の3会議室を使って「わが家を守る家の健康診断」「ヨガ」「ボイストレーニング」「フラワーアレンジメント」など9講座が開講。事前に申し込んだ学区民や子どもたち約60人が受講した。なかには掛け持ちで講座を申し込みする人もおり大盛況。主催のまちづくりカンパニーでは「初めての企画で、好評だった。次回の開催を楽しみにしているとの声が多く寄せられている」と話している。

## 4年ぶりに夏休みラジオ体操 夢・未来事業推進委

日吉台青少年育成学区民会議の夢・未来事業推進委員会は6月6日、日吉台市民センターで委員会を開き、日吉台小グラウンドで開催する夏休みラジオ体操について、コロナ禍前の日常に戻したいとして4年ぶりの実施を決めた。

夏の日吉台恒例、日吉台小で開催されるラジオ体操は、学区民や子ども

## 校庭に歓声ひびく

## こぶし大のイモ次々と

日吉台小学校コミュニティスクール事業「ふれあい農園」のジャガイモの収穫作業が6月19日、同小学校体育館西側の学校園で行われ、6年生児童14人が、大人のこぶし大ほどのイモを掘り起こし収穫した。写真。

ふれあい農園は、学区社会福祉協議会のボランティア支援として、平成11年2月にスタート。同小の学校園で、ふれあい農園(森育寿代表)グループの人たちが、子どもたちをサポートし、毎年1年生が「サツマイモ」、2年生が「ダイコン」、3、4年生が「タマネギ」、5、6年生が「ジャガイモ」を栽培している。

ジャガイモ栽培は今年3月、今の6年生児童が5年生だった時にキタアカリのタネイモを植え、芽かきや土寄せなどをして育てたもの。子どもたちは、イモ畑の前でふれあい農園代表の森育寿さんからジャガイモ栽培の歴史や食品としての性質を学んだあと収穫へ。畑のなかから立派に育ったイモを掘り起こし、歓声をあげていた。

**困ります!そのオシッコ!!**  
マナーを守りましょう!

**犬のトイレは適切な場所で!**  
※ 犬の散歩の際は、フン尿の処理ができる用意(ビニール袋、水入りペットボトル)をしましょう。

**大津市動物愛護センター**

**市街灯+私街灯**  
玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!

- ✓ 夜道も明るくて安心
- ✓ 泥棒に狙われにくい街づくり

・ 門灯点灯やセンサーライト取り付けは多くの警察で防犯対策として推薦されています。  
・ 電気代はLED電球(40W電球相当)の場合、1日12時間点灯でも月60円程度です。

私たちの人気行事。新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年以来中止されていた。今年再開されるラジオ体操、実施期間を7月21日から8月10日までの土日曜日を除く15日間で、午前7時から開く。